

令和4年度 米田小学校 学校評価【総括】

★評価基準(平均2.5)					2点台	
教職員 4:とてもできている 3:できている 2:ややできていない 1:できていない						
保護者 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない						
児童 4:はい 3:どちらかというとはい 2:どちらかというといいえ 1:いいえ						
項目	No	内容			評価	
確かな学力	1	実践目標	学ぶ喜びを味わえる授業づくりができたか。			3.10
		保護者評価	子どもたちは、学習や運動でできるようになった喜びや、わかった喜びを味わえていると思いますか。			3.29
		児童評価	勉強がわかる。			3.62
		成果	導入を工夫することで、前向きに学習させ、わかった喜びをにられるようになってきた。			
		課題と改善の方向性	学習後の振り返りを工夫することで、さらに意識を高めさせていく。			
	2	実践目標	お互いに協力し合って、学ぶ授業づくりができたか。			3.40
		保護者評価	子どもたちは、互いに協力しあって学び、共に伸びようとしていますか。			3.24
		児童評価	授業中、先生や友だちの話をしっかり聞いている。			3.76
		成果	少人数のよさを生かし、対話する機会を多く取り入れた授業づくりができた。			
		課題と改善の方向性	ペアやグループでの活動を行う際、考えを示す方策としてICT機器も取り入れるなどの工夫をしてきたが、さらに指導力向上を図るために研修を行っていく。			
	3	実践目標	課題に、粘り強く取り組み、やり遂げることができるよう設定や指導ができたか。			2.50
		保護者評価	お子さんには、粘り強く考えたり、最後までやりとげたりするたくましが育っていますか。			2.85
			子どもたちには、学習や運動、行事など、目標を立てて、それに向かってチャレンジするたくましが育っていると思いますか。			3.12
		児童評価	みんなの前で自分の考えを発表している。			3.76
		成果	児童によっては、粘り強く取り組む姿が多くみられるようになった。			
	課題と改善の方向性	家庭と連携して、学習はもちろん、様々な場面で的確な支援を行い、より一層達成感を味わわせていく。				
	4	実践目標	学ぶ方法や学ぶ習慣が身につけさせられたか。			2.90
		保護者評価	お子さんは、学校での学習や家庭学習において、進んで学習しようとしていますか。			3.00
			お子さんは、いきいきと生活や学習に取り組んでいますか。			3.15
		児童評価				
成果		教材研究の充実や課題の提示方法の工夫、ICT機器の効果的な活用により、充実を図ることができた。				
課題と改善の方向性	意欲喚起・継続のための工夫をよりいっそう充実させるとともに、教材研究の質の向上、ICT活用指導力向上のためにさらなる研鑽を積む。					
5	実践目標	家庭学習の習慣化を図り、基礎・基本の定着に努めることができたか。			2.90	
	保護者評価	家庭では、お子さんに家庭学習の習慣を身につけさせるため、声をかけたり、確認をしたりされていますか。			3.03	
	児童評価	読書をよくしている。			2.78	
		家庭学習は、めやすの時間(10分×学年+10分)をがんばっている。			3.16	
	成果	ICTを使うなど、繰り返し学習を興味をもって取り組みますことができている。				
課題と改善の方向性	学校と家庭で協力し、読書に親しむ機会をどのように作っていくかの検討を行う。					
豊かな人間性	6	実践目標	自分も友だちも大切にする学級づくりができたか。			3.00
		保護者評価	お子さんには、自分を大切にし、友だちを大切にする心が育っていますか。			3.35
			家庭では、お子さんの言葉づかい(人の気持ちを思いやる温かい言葉づかい)に気をつけておられますか。			2.91
		児童評価	学校が楽しい。(充実している)			3.86
			友だちと遊ぶのが楽しい。			3.97
			友だちにいやなことを言ったりしたりしていない。			3.65
		成果	特別支援教育や人権教育の視点で、児童理解を図り、個別支援を行うことができた。また、その情報共有をもとに全職員で全校生を見守ることができている			
	課題と改善の方向性	教職員の人権意識をさらに高めるような研修を継続して行うとともに、今後も児童の寄り添った教育活動の充実にも努める。				
	7	実践目標	あいさつを大切にし、自分から人間関係を良くしようとする学級づくりができたか。			3.10
		保護者評価	家庭では、お子さんにあいさつの大切さを伝えておられますか。			3.35
			子どもたちは、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」などのあいさつをしっかりとしていますか。			3.18
		児童評価	先生や友だちによくあいさつをしている。			3.70
			地いきの人によくあいさつしている。			3.76
		成果	子どもたちは、学校で出会う人には、爽やかなあいさつができるようになってきた。			
	課題と改善の方向性	あいさつの大切さは理解しているが、地域や家庭では、あいさつすることに消極的であるため、さらにあいさつの大切さの伝え方の方法を探っていく。				
	8	実践目標	児童に寄り添った言葉かけを大切にし、一人一人の内面理解に努めたか。			2.90
		保護者評価	家庭では、お子さんとの会話を大切にされていますか。			3.21
		児童評価	家族と一緒にいるのが楽しい。			3.81
			先生がたは、わたしたちの話を聞いてくれる。			3.86
		成果	児童一人一人を全教職員で見っていくことを共通理解し、情報共有できている。			
課題と改善の方向性		児童と向き合う時間を確保するため、校務の優先順位や段取りを常に意識し、より一層効率的に職務を遂行していく。				
9	実践目標	係活動、学活、委員会、代表委員会等を通して、自治的能力を高められたか。			3.00	
	保護者評価	家庭では、自分のことは自分でさせることを大切にされていますか。			2.76	
	児童評価	休み時間は外でよく遊んでいる。			2.59	
	成果	授業や行事などを通して、自ら進んで行動する機会を多く設定することができた。				
	課題と改善の方向性	家庭でも進んで行動できるような研修の場を推進していく。				

生活指導	10	実践目標	個に応じた対応、保護者と職員が共有し、連携指導ができたか。	3.30
		保護者評価	学級・学校は、個に応じた適切な学習・生活指導を進めていますか。	3.38
			学級・学校は、保護者の皆様のご意見や願いに耳を傾け、子どもたちの成長を考えて、改善しようと心がけていますか。	3.32
		児童評価	学級で問題が起こったとき、みんなで話し合い、解決しようと努力している。	3.57
		成果	少人数の利点を生かし、一人一人に応じた対応ができている。	
		課題と改善の方向性	ICTを使うなどの工夫をしながら、教職員に共通理解を密にしていく。	
	11	実践目標	学校や教室の環境美化や環境整備ができたか。	2.60
		保護者評価	学級・学校は、環境美化や作品掲示の工夫に心がけ、環境整備に努めていますか。	3.35
		児童評価	もくもく掃除をがんばっている。	3.41
		成果	興味をもって掲示物を見ている児童が多く、目標意識をもったり、意欲喚起になったりしている。掃除の責任を持ってやっている。	
		課題と改善の方向性	多様な学びの場として、学習で活用したものを効果的に掲示したり、知的好奇心をくすぐる掲示を行う等して、校内の環境整備を図っていく。	
	12	実践目標	安全に対する取り組みを充実させることができたか。	3.10
		保護者評価	地域・保護者・学校が連携して、子どもたちの安全を守る取組を進めていると思いますか。	3.12
		児童評価	きちんとならんで登下校している。	3.89
			登下校では、班長さんの言うことを聞いている。(下級生のことを考えて、行動している。)	3.92
		成果	コロナへの水際対策等、しっかりと進めることができた。また、実地訓練による救急体制の検証や不審者対応などは大変有効であった。	
		課題と改善の方向性	コロナ対応など、学校の新たな危機に関するリスクマネジメントを進めるとともに、児童数減少に伴う下校時等の安全確保についての検討も行う。	
	13	実践目標	米田小のきまりを守るための指導を通して、安全な学校生活を送らせることができたか。	3.00
		保護者評価	家庭では、日ごろからテレビやゲームなどの時間を決め、それを守らせておられますか。	2.37
			お子さんは、自らルールを守ろうとしていますか。	2.94
		児童評価	先生や目上の人、友だちに対して正しい言葉づかいをしている。	3.65
			米田小ネット・メディアルールを守っている。	3.24
		成果	学校でのルールは守れている。	
		課題と改善の方向性	家庭での評価が低いため、学校と家庭が連携して取り組む方法を研究していく。	
	14	実践目標	基本的な生活習慣を意識し、生活リズムを整えようとする意識を育むことができたか。	3.00
		保護者評価	家庭では、お子さんの早寝、早起きに気を配り、規則正しい生活リズムに気をつけておられますか。	3.12
			家庭では、お子さんに朝ごはんなどの食事をしっかりとらせることを大切にされていますか。	3.32
		児童評価	時こくを守り、5分前に行動している。	3.19
		成果	自分の生活を振り返る機会を増やし、自律的に生活できるようにしてきた。	
		課題と改善の方向性	規範意識は高いものの、自己中心的な視点で生活している児童も多く、今後も広い視野で生活できるように支えていく。	